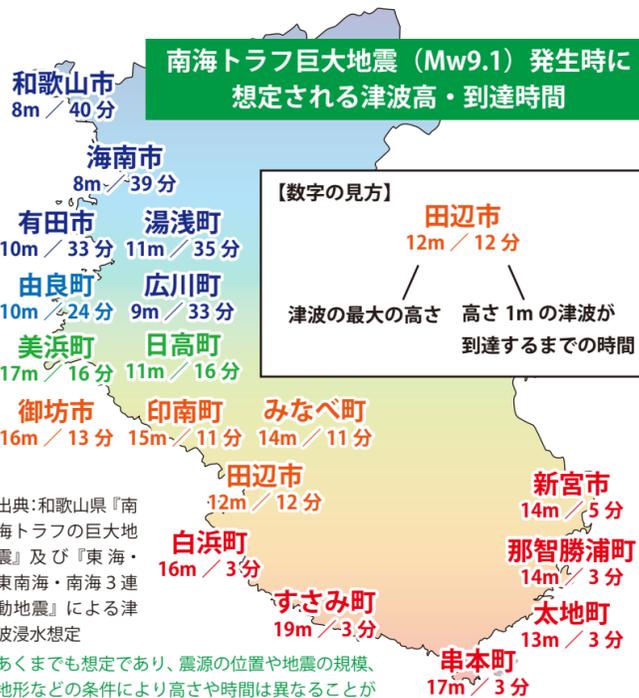




## 大規模災害発生時、孤立によるリスクは？

元日に発生した能登半島地震は、直下型地震としては国内戦後最大のマグニチュード 7.6 を記録。地震の揺れと火災、津波の影響で能登半島を中心に甚大な被害をもたらしました。なかでも道路網が至るところで寸断され、孤立した集落が多数あったこともあり、被害の全容把握や支援活動に大きな支障が発生しています。仮に和歌山で同様の災害が発生した場合、どのようなことが考えられるのでしょうか。統計資料などから考えます。



**孤立時に共助が困難な地区は全体の1割？**  
和歌山県内には、大規模災害時に孤立する可能性がある集落が約600あるとして、通信手段の確保などの取り組みや訓練がおこなわれていきます。一方、人口が少なく高齢化率が高いと、大規模災害など緊急時に住民同士の助け合い(共助)活動に支障が出る可能性が高まると考えられます。そこで

人口が50人以下かつ高齢化率50%以上の地区数			
	地区数	全地区数	割合
和歌山市	18	833	2.2%
海南市	1	165	0.6%
橋本市	5	79	6.3%
有田市	1	29	3.4%
御坊市	0	23	0.0%
田辺市	32	146	21.9%
新宮市	17	69	24.6%
紀の川市	7	146	4.8%
岩出市	1	46	2.2%
紀美野町	21	53	39.6%
かつらぎ町	6	47	12.8%
九度山町	3	11	27.3%
高野町	6	11	54.5%
湯浅町	0	7	0.0%
広川町	0	16	0.0%
有田川町	26	94	27.7%
美浜町	0	5	0.0%
日高町	0	20	0.0%
由良町	0	19	0.0%
印南町	4	24	16.7%
みなべ町	0	31	0.0%
日高川町	12	48	25.0%
白浜町	6	33	18.2%
上富田町	0	8	0.0%
すさみ町	11	16	68.8%
那智勝浦町	7	49	14.3%
太地町	0	2	0.0%
古座川町	10	29	34.5%
北山村	1	4	25.0%
串本町	2	43	4.7%
全県計	197	2106	9.4%

地区の人口と高齢化率に着目し、万一孤立した場合に共助が困難になると想定される地区の数を算出しました。国勢調査をもとに、市町村ごとに地区の人口が50人以下、かつ高齢化率が50%以上となっている地区の数をまとめたものが右表です。和歌山県全体では197地区と全地区の約1割にのぼっています。結果を見ると、山間部を抱える自治体ほど

当該する地区数の割合が高い傾向がうかがえます。山あいの地域では谷ごとに地区が構成されているケースが多く、そこに人口減少が加わり、当該地区数が多くなっているものとみられます。なお、地区の区切り方には地域差がかなりあります。和歌山市中心部では道路を1本隔ると地区名が変わるような細かい区分けがなされているため、該

能登半島地震では山間部や海沿いを中心に集落の孤立が相次ぎました。孤立時、集落に一定の人口があれば救援の手が届くまで様々な工夫が可能かもしれませんが、人口の少く高齢化が進む地区ではこのような工夫が困難になるリスクが高くなると思われ、今後なんらかの対応が必要になると思われ、今後

津波も改めて確認  
能登半島地震では震央は陸上だったにも関わらず、長距離にわたって断層が動いたため、大きな津波が発生しています。

## わかやま SDGs パートナリシップ基金 2023年度 助成先&ご寄附を募集します

みんなの力で SDGs 実現を！

わかやま NPO センターが 2021 年度から運営している「わかやま SDGs パートナリシップ基金」では、県民のみなさまからのご寄付を原資に、国連 SDGs (持続可能な開発のための目標) の達成に向けて取り組みをすすめる和歌山県内の NPO・ボランティア団体を応援します。

**今年度は SDGs ゴール 14「海の豊かさを守ろう」・ゴール 15「陸の豊かさを守ろう」に向けた活動を支援します。** 助成を希望される団体を募集します。また、本基金へのご寄附も継続して募集します。多くのご参加をお待ちしています。

### 対象団体

- 以下の条件をすべて満たす団体が対象です。
- 和歌山県内に拠点を置く NPO・ボランティア団体 (法人格の有無は問いません) 一般社団法人の場合は非営利徹底型に限りです。
  - 応募時点で活動開始から概ね 2 年以上経過していて、一定の活動実績を有していること

### 対象となる活動

SDGs ゴール 14 または 15 に関連し、和歌山県内で「自然環境下における生きものの保全」につながる活動とします。

### 助成金額・団体

1 団体 3 万円を 5 ~ 6 団体に助成します。他の助成金事業等との重複も構いません (もう一方の事業が認めている場合に限りです)。なお、集まった寄附金額に応じて団体数は異なります。応募内容によってはヒアリングをさせていただくことがあります。

### 助成金の使途

市民のみなさまからのご寄附が助成金の原資であることから、活動に直接必要な費用に充当されることを原則とします。内訳は問いません。

### 助成申請に必要なもの

- 1) 所定の申請書類 (ウェブサイトから Word 形式でダウンロードできます)
- 2) 添付書類
  - ・NPO 法人の場合…原則としてありませんが、定款と直近事業年度の事業報告書・活動計算書が内閣府 NPO 法人ポータルサイトに掲載されていない場合は添付ください
  - ・任意団体の場合…会則もしくは規約と直近事業年度の事業報告書・決算書
  - ・一般社団法人の場合…定款と直近事業年度の事業報告書・決算書

### 申請方法

わかやま NPO センターまで FAX もしくは電子メールのいずれかでお送りください (郵送不可)。電子メールでの応募の場合は、受領確認メールをお送りします。3 月 7 日 17 時を過ぎても受領確認メールがない場合は、迷惑メール等に誤判定されている可能性がありますので、電話でお問い合わせください。

### 締め切り

**2024 年 3 月 5 日 (火) 17 時 (必着)**

くわしくはウェブサイトをご覧ください。引き続き、当基金へのご寄附も募集しております。ご寄附が増えると支援ができる団体数も増えます。ぜひ、ご協力をお願いいたします。

<https://wnc.jp/works/sdgsfund/>

【運営】 認定特定非営利活動法人わかやま NPO センター  
〒640-8331 和歌山市美園町 5-6-12 TEL 073-424-2223 info@wnc.jp  
【事務所不在時、電話は和歌山県 NPO サポートセンターに転送されます】

## 和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会だより

### いのち育む有機稲作 栽培技術勉強会

日程 2月23日(金・祝)  
13:30~17:00

場所 和歌山県 JA ビルとホール AB

講師 館野 廣幸さん (NPO 法人 民間稲作研究所 理事長)

定員 120 人 (当日先着順)

参加費 500 円 (資料代)

主催 NPO 法人和歌山有機認証協会  
073-499-4736 (平日 9:00-17:00)

後援 近畿農政局、東洋ライス株式会社、和歌山県、和歌山県教育委員会、和歌山市、和歌山市教育委員会

詳しくはこちらからご覧いただけます。



このコーナーでは、和歌山市 NPO・ボランティア推進協議会に所属している NPO・ボランティア団体から提供されたイベント等の情報を不定期にお届けしています。